

資材の消臭効果試験

—試験報告書—

試験番号:217170N



株式会社 食環境衛生研究所

〒379-2107

群馬県前橋市荒口町 561-21

Tel027-230-3411

Fax027-230-3412

1. 表題
消臭試験

2. 試験番号
217170N

3. 目的
フルボ酸 0.4%溶液による消臭効果を確認するため。

4. 試験管理組織
試験依頼者の名称、所在地
名称 日本オーガニックミネラル株式会社
所在地 東京都渋谷区広尾 1-3-15 岩崎ビル 8F

実施機関の名称、所在地及びその長の氏名
名称 株式会社 食環境衛生研究所
所在地 群馬県前橋市荒口町 561-21
氏名 代表取締役 久保 一弘

試験実施責任者の氏名
宮本 正志

5. 試験実施日
2021年8月25日

6. 資材
フルボ酸 0.4%溶液

7. 試験臭
アンモニア (検知管:ガステック製 No.3La)

8. 試験設計

試験臭ごとに下記設計に従い実施した。

区	資材の噴霧	臭気成分濃度の測定時点
対照区	なし	開始時、開始後 1 分
試験区	あり(3 mL)	開始時、開始後 1 分

9. 試験方法

- 1) 試験臭ごとに 10 L のテドラーバッグを 2 袋(各区 1 袋ずつ)用意した。
- 2) テドラーバッグに無臭空気を充填した。
- 3) 一定のガス濃度となるよう臭気ガスを注入した。
- 4) ガス検知管を用い、初期濃度を確認した後、テドラーバッグ内にフルボ酸 0.4%溶液 3 mL を噴霧し試験を開始した。
- 5) 開始後 1 分にガス検知管を用い、ガス濃度を測定した。
- 6) フルボ酸 0.4%溶液の噴霧を行わない対照区を設け、比較検証した。

10. 結果

臭気成分のガス濃度測定結果を表 1 に示す。

本試験の結果、アンモニアについて、噴霧後 1 分で 100 ppm から検知限度未満(<0.2 ppm) に減少し、減少率は 99.8%以上であった。

よって、フルボ酸 0.4%溶液はアンモニアに対する消臭効果を有する可能性が示唆された。

表 1:ガス濃度測定結果(アンモニア)

区	資材の噴霧	ガス濃度(ppm)	
		開始時	開始後 1 分
対照区	なし	100	100
試験区	あり(3 mL)	100	<0.2(検知限度未満)